



学力の向上を目指して

少人数授業やタブレット端末の活用

平成 28 年度から、全国に先駆け、小学校全学年を 35 人以下学級としました。また、一人ひとりの学力に応じた習熟度別や課題別の少人数授業を実施しています。さらに、タブレット端末等を積極的に活用し、学力向上に努めています。



学校でも家庭でも、効果的にタブレット端末を使っています

子どもたちは、地域の宝です。大牟田市では、「まちづくりは人づくりから」という考えに方に立ち、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒を育むために、一人ひとりを大切にしたい教育をすすめています。



持続可能な社会の創り手を育てるために

SDGs / ESD の推進



中学生も避難所設営など、地域貢献できるよう防災・減災教育を行っています



世界文化遺産「宮原坑」をご案内！～子どもボランティアガイド

各小・中・特別支援学校が、それぞれの地域の特徴を生かしながら、世界遺産、環境、福祉、防災・減災などの特色ある教育に取り組んでいます。人と人との「つながり」や「かかわり」を通して、自分たちができることを考え、地域や社会の課題を解決するなど、次世代に向けた若い力を育んでいます

特別支援教育の充実

多様なニーズに応える支援

障害のある児童生徒の多様なニーズに応え、自立と社会参加を図るため、市立特別支援学校（政令指定都市や中核都市以外では九州に2校）を設置しています。また、教育支援センターや通級指導教室、小・中学校には、特別支援教育支援員や特別支援教育巡回指導員を配置し、一人ひとりに寄り添った教育を行っています。



みんななかよし～特別支援学校学習発表会

教育相談の充実

心に寄り添う温かいサポート

教育相談室や教育支援センターに、経験豊富な教育相談員や指導員を多数配置し、児童生徒や保護者からの相談に応じています。また、各学校にスクールカウンセラーを派遣するとともに各中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒を取り巻く諸課題の解決に向けた支援を行っています。



子どもの心に寄り添いながら、専門機関との連携を図るスクールソーシャルワーカー

安心安全でおいしい学校給食

理由①：手作りが基本

～カレーのルーからフライの衣付け、ドレッシングまで手作り！

理由②：地元の食材を

～大牟田産、福岡県産、九州産の食材を使うなど、地場産物を多く取り入れています。

理由③：安くて安全、おいしい給食を

～栄養教諭、給食調理員、給食担当の教諭を委員とする物資選定委員会を毎月実施し、品質、味、価格等の視点から検討して食材を選んでいます。



食物アレルギーがあっても、みんなと一緒に給食を！



アレルギーの原因となる食品を除いて、個別に給食を作ります。専用の調理方法や容器などを使い、安全管理を徹底しています。



義務教育9年間を見通して 小中一貫教育を進めています



小・中学校合同で行う校内や地域での清掃活動

義務教育9年間を見通した教育課程に基づく指導を行うとともに、専任のスクールソーシャルワーカーおよび学校と家庭・地域をつなぐ、専任の地域学校協働活動推進員などの活用により、学力の向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」の解消に努めています。



「ようこそ先輩！」～中学生が母校を訪問し、小学生たちに中学校生活の楽しさを説明します